

井尻公民館だより

(2023 年 4 月 1 日発行)

<令和 5 年 4 月号>

(第 229 号)

<連絡・問い合わせ先> 館長 窪田 道忠 ()
主事 相澤陸奥実 ()

花ざかり山は日ごろのあさぼらけ

松尾芭蕉



遠く of 山々が靄で白ぼつく見え、木々の葉の膨らみも増し春の訪れを感じさせる季節となって来ました。

今年の桜の開花も例年よりも一段と早やく、この「だより」が皆さんに届く前には春爛漫の満開が楽しめる日々でしょう。「二月にげ、三月さって、もう四月」です、社会では新たな年度の始まりで、多くの皆さんが心を膨らませ、夢を抱き、それぞれの人生航路に出て行く季節でもありますね。

コロナ感染も低い方へ落ち着いて来ている様子ですが油断禁物です、コロナウイルス対策としてのマスク着用が 3/13

絵手紙愛好会

から個人の判断に委ねられる様になり、

着用が当たり前となっ

古屋典子

ていた日常生活にも変化が起きて来ますね、とは言え、場面に応じた対応も必要となりますが、早く平時に戻れば嬉しいですね。

お知らせ

初期の非接触型体温計は性能が悪く誤動作も多く、皆さんから非常に評判が悪かったですが、今回のタイプは（左側）即座に正確測定できます、もう一台（右側）は正面に顔を近づけると、測定結果をボイスと表示で教えてくれ、37 度以上では警告音で知らせる、測定器の下側には手をだすと、消毒アルコールの自働噴霧する装置器となっております。

通常は電源スイッチ OFF ですので利用時は ON して下さい、利用後は必ず OFF に願います、（内蔵電池の消耗防止のため）



東日本大震災犠牲者追悼コンサート

あの日から12年・・・

私たちの心に深く刻まれた「3月11日」を迎えました。

今年も、三日市場の常泉寺にて「勿忘の鐘」の法要が行われ多くの皆さんが参加、午後2時46分に震災を心に刻み、犠牲者に思いを馳せ、鐘をつきました。

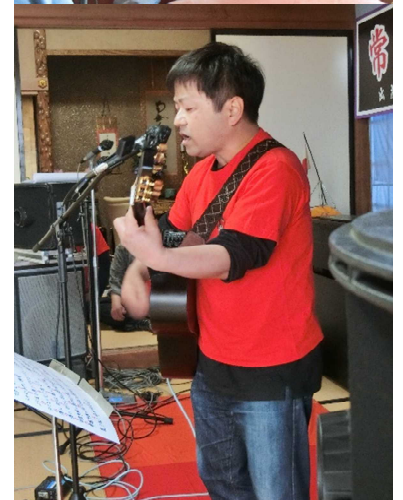
翌3月12日には「東日本大震災犠牲者追悼コンサート」を本堂にて開催されました。

長渕 剛さんの音楽や思いに共感しているメンバーの集まり「富士の国 麵彩剛会」が一曲一曲に思いを込めてのコンサートでした。



乾杯

かたい絆に 想いをよせて 語り尽せぬ 青春の日々 時に傷つき
時には喜び 肩をたたきあった あの日～



公民館清掃

年度末行事として、使用団体、運営委員の方々の協力を頂き清掃作業を行いました。

内外の窓ガラス、室内床も天井も隅々までの作業を行い完了、ご苦労様でした。又いつも児童クラブの先生方には、エントランス、大ホール、トイレと清掃して頂いております有難うございます。





公民館活動

塩山書道会

書道は何枚習字しても一枚として同じには青書にはならない、又その日の体調によっても違ってくる、一筆一筆気持ちを込め文の意味も理解しての書であります。

小幡一恵グループの代表者の基で、青柳講師の指導も受け、楽しく活動中です。

毎週水曜日午後 7 時 30 分～和室にて行われております、会では興味ある方の参加もお待ちしております。



青柳先生

〔川柳〕

〔井尻公民館川柳愛好会〕

2023/2/24

マスクでも喜ぶ顔は目で分かる

〔久保 晃〕

八十路過ぎ喜寿の写真が仏壇用

〔三井厚子〕

喜びに変えた打つ手のない病

〔田辺たみ子〕

喜寿迎え次は米寿と年数え

〔古屋典子〕

つくし見た春の喜びすぐそこに

〔雨宮江身子〕

喜美ちゃんと呼ばれていたと語る母

〔石垣まさ子〕

ふくらんだ餅が嬉しい午後のお茶

〔中村廣一〕

人の世の喜怒哀楽を短詩にね

〔関口正次〕

義理人情捨てて気ままな喜寿の坂

〔飯島武志〕

〔俳句〕

〔井尻公民館俳句愛好会〕

2023/3/10

たんぽぽの絮毛舞ふ径母の道

〔飯島武志〕

春がすみ木喰の里指呼のうち

〔野村可ね子〕

凜として閑なる山の冬木立

〔飯島和子〕

「ふみ入りて風より軽ろくたんぽぽの絮」

〔増田英仁〕

足音にワツと広がる蛙の子

〔小林昂平〕

蒲公英や畑に灯りのつく如く

〔三森美恵子〕

蒲公英や閉じて寂しき野暮かな

〔鶴田光子〕

水源の木洩れ日揺らす蝌蚪の風

〔三桐 淳〕

〔短歌〕

〔古屋和子〕

野菜畑いつの間にもやらの座の

赤紫に埋め尽くされて

春めきてコロナようやく減少か

食事会への誘い増えたり

〔久保 晃〕

草の戸は住み替わらずも老いし雛

病に伏して留守長かりし

願わくば花の咲く頃病療え

弥生の空の下にて会わん